

10月30日(金)

まだ間に合う!

卒論執筆スタート講座

～文系編～

京都大学附属図書館

学習サポートデスク

アジア・アフリカ地域研究研究科D1

二重作 和代



アウトライン

- 執筆までのスケジュール
- 卒論執筆の前提知識(”当たり前”をもう一度おさらい！)
- 卒論の基本構成、アウトライン例
- 参考文献のみつけ方、整理
- 問いの立て方
- 卒論の全体イメージの確認
- 卒論の書き進め方
- おまけ (実際、どんな感じだったの?)





~高校

<作文>
テーマに沿って、
思ったことや
感じたことを書く。

<レポート>
信ぴょう性のある
データ・資料を使って
自分の主張を書く。
(感想ではない)

中・高・大

<論文>
(レポート + a)
自分が調査・実験
新しい事実・解釈を
取り入れる。

大学・研究者

執筆までのスケジュール(1月初旬に提出の場合)

3年の3月まで

指導教官と話し合う、テーマ決め、単位の回収

4年 4月

参考文献探しと読み込み

→ここでテーマをしっかり決めていく…。

7~10月

テーマと問いの確定、文献の読み込み

→問いや題目もこの時期ならまだ悩める！文献の読み込みは大事！

8~10月

調査、実験 ▶□ 分析、まとめ

→ここで一度自分の論調を見直す

10~12月

執筆！！とにかく書く！！

→友人や先生に読んでもらう。

提出！！



卒論執筆の前提知識（「当たり前」の確認！）

□ 「締め切り」の確認

締め切りは最終提出日だけでは無い！

ex) 予稿はいつまで？？先生に添削してもらうためにいつ出す？？

□ 必要な最低ラインの確認（文字数、枚数）

学部、学科に応じて異なる。

20000～40000文字（A4 20～40枚）程度が理想と言われている。

□ 執筆までに用意すべきもの・するとよいもの

研究テーマの設定、文献（書籍、論文、新聞記事など）、

データ（インタビュー結果、アンケート結果、統計データなど）

パソコン、USB/外付けハードディスク（or Dropboxなど）、ノート、付箋

（やる気、元気、適度な息抜き、体調管理）

卒論の基本構成

- 表紙
- 要旨(概論)
- 目次
- 序論
- 本論
- 結論(終章)
- 参考文献
- 謝辞



博士 予 備 論 文

観光開発フロンティアにおける
地域文化の再「発見」と創造
—インドネシア、バンカ・プリトゥン新州の事例から—

Re-discovery and Creation of Local Culture in the
Tourism Development Frontier:
A Case of the New Province of Bangka Belitung,
Indonesia

2020年2月

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
博士課程東南アジア地域研究専攻

二重作 和代

卒論の基本構成

- 表紙
- 要旨(概論)
- 目次
- 序論
- 本論
- 結論(終章)
- 参考文献
- 謝辞

要 旨

本論文は、インドネシアのバンカ・プリトゥン州を事例に、観光を通じて多民族地域の住民たちが文化を再考し、どのような地域文化を再発見、創造しているのかを検討、考察するものである。

本研究調査地であるインドネシアのバンカ・プリトゥン州は、18世紀以降世界的に有名な錫産地であり、2000年に南スマトラ州から独立したばかりの新しい州である。同州を取り上げたベストセラー小説「虹の少年たち(Laskar Pelangi)」が映画化された2008年以降、観光開発が急速に進展した。同州が新州として設立される2000年以前も、両島としてまとまった文化を考える発想はあったものと考えられる。しかしながら、そのような発想はあったものの、具体化されることはなく曖昧なまま、新州設立時に地域文化とは何か再考することになった。歴史文献が十分でなかったこともあり、同州の人々が地域文化を再考することは容易ではなかったと考えられる。そして2008年以降の同州における観光ブームを契機に、同州の人々は地域独自の文化を再考することになった。

観光開発が重視され始めた頃は、地域文化といえばムラユ文化という表象が中心であった。しかし、錫鉱山開発によって流入してきた華人やブギス人などは、現在もその多くが居住している。彼ら、更には、混血した人々が生み出した同州の文化は多様であり、ムラユ文化のみでは語り尽くせない。観光開発が進展するにつれ、ムラユ文化だけでなく、華人文化やブギス人などの漁村文化も積極的に観光の場で表現されるようになっていく。たとえば、伝統家屋を用いた博物館では、ムラユの伝統衣装・装飾に華人文化が混交している点がスタッフによって積極的に紹介されている。また2019年2月には、これまで華人のみで行われていた旧正月を祝う行事が、ムラユ人やブギス人なども巻き込んだ観光イベントとして開催された。同州の人々は、上述のように「多様な文化が融合してできた文化」を再発見、創造し、観光の場で表象しているが、現実社会のエスニック・グループをめぐる現状との間にはギャップが見受けられる。しかしながら、今後観光開発の中で様々な試みが行われ、多様な文化を観光の中で地域の文化として組み込み、提示していく過程で、そう「見られたい」文化像から、「実際の」文化像へと転換していく可能性があるかもしれない。

卒論の基本構成

- 表紙
- 要旨(概論)
- 目次
- 序論
- 本論
- 結論(終章)
- 参考文献
- 謝辞



目次

第1章 はじめに	6
1-1. 研究の背景.....	6
1-2. 先行研究.....	9
1-2a. 「観光」とは何であるか.....	9
1-2b. 観光と文化に関する先行研究.....	10
1-2c. バンカ・プルトゥン州に関する先行研究.....	11
1-3. 研究目的および調査手法.....	12
1-4. 構成および用語について.....	13
1-4a. 本論文の構成.....	13
1-4b. 用語について.....	14
第2章 インドネシアにおける観光開発	15
2-1. インドネシアにおける観光開発の変遷.....	15
2-2. 地方社会における観光開発.....	20
2-3. メディアがもたらす観光への影響.....	22
第3章 観光ブーム以前のバンカ・プルトゥン州	26
3-1. 錫鉱山開発とヒトの移動.....	26
3-2. 地方分権化と南スマトラ州からの独立.....	29
3-3. 小説「虹の少年たち」の映画化と観光への目覚め.....	31
第4章 観光省および観光局の取り組み	35
4-1. インドネシア観光省とバンカ・プルトゥン観光.....	35
4-2. 観光局の取り組み.....	36
第5章 バンカ・プルトゥン州における観光開発	41
5-1. 地域住民と観光～観光開発の担い手は誰か.....	41
5-2. バンカ島における観光の動向.....	44
5-3. プルトゥン島における観光の動向.....	46
第6章 観光の場における「地域文化」の変遷	49
6-1. バンカ・プルトゥン州におけるムラユ文化.....	49
6-2. 華人文化の動員.....	55
6-2a. 華人の流入と地域社会への適応.....	55

卒論の基本構成

- 表紙
- 要旨(概論)
- 目次
- 序論
- 本論
- 結論(終章)
- 参考文献
- 謝辞

どのような背景で、どのような問いを立てたのか？
研究の目的はなにか？論文の展開(各章でどのようなことを論じるか、読者へのナビゲート)。必要に応じて言葉の定義を提示。

(例)

- ・研究方法、対象、期間
- ・調査(インタビュー、資料収集、アンケートなど)で得た情報や資料の分析、まとめ
- ・研究の考察(調査結果を踏まえ、客観的に評価をする)

研究でなにを明らかにしたのか？
(研究の目的に立ち返る)
今後の課題は？
(まだ明らかになっていない/残っている問題は？)

卒論執筆のためのアウトライン例

<アウトライン>

テーマの出発点 (内い, ざと)

- 様々な民族によって構成される地域では、多民族性を包摂した独自の文化の形成は見受けられるのか?

研究の目的

→ 多民族地域の文化が、どのように独自の地域文化を形成しているのかを明らかにすること。

これを明らかにするために...

- 観光に着目し、観光客に対してどのような地域文化を観光資源として売出しているのか?
- 観光資源の模索の過程で、地域文化がどのように変容してきたのか?

→ これらに内いをする

研究方法, 対象

→ インドネシアのバンカ、リトロン州

← 180ms
多民族地域

→ インタビュー調査, 資料集約

↳ 地域の人々

↳ 国・州立図書館
統計データ, 新聞

先行研究では、

多民族地域の文化については検討がなされている。

↳ 独自の文化の形成については議論の余地あり。

参考文献のみつけ方 (準備段階、追加資料が必要になった時など)

● 大学図書館のOPACで検索

→kulineの活用！書籍も論文も探せる！

探す文献の種類に応じて、タブを選択！
詳細検索で、書籍名、著者名で検索も！

The screenshot displays the KULINE library search interface. At the top, there are navigation links: HOME, 総合利用案内, 学習/研究サポート, よくある質問, 図書館・室一覧, 開館カレンダー, お問い合わせ. Below this is a search bar with tabs for 蔵書検索, 論文検索, 蔵書・論文+, 貴重資料画像, 他大学検索, 横断検索, and KURENAI. The '蔵書・論文+' tab is selected. Below the search bar, there is a search input field and a '検索' button. A message below the search bar states: 「蔵書・論文+」タブでは、図書、雑誌、論文、新聞記事などを電子媒体も含めて幅広く検索できます。 Below this message are two links: ▶ Discoveryで検索結果を確認するときはこちらをクリック and ? 蔵書・論文+タブで検索できるのは？ 本文へのアクセス方法は？. Below the search bar is a section for MyKULINE - 利用状況の確認・貸出更新. This section shows a message from 京都大学図書館 から 6860303059000 さんへのお知らせ: 図書館からの通知はありません。 Below this message is a section for 借りている資料 0冊 and 延滞資料はありません。

まずは1~2冊から読んでみる。

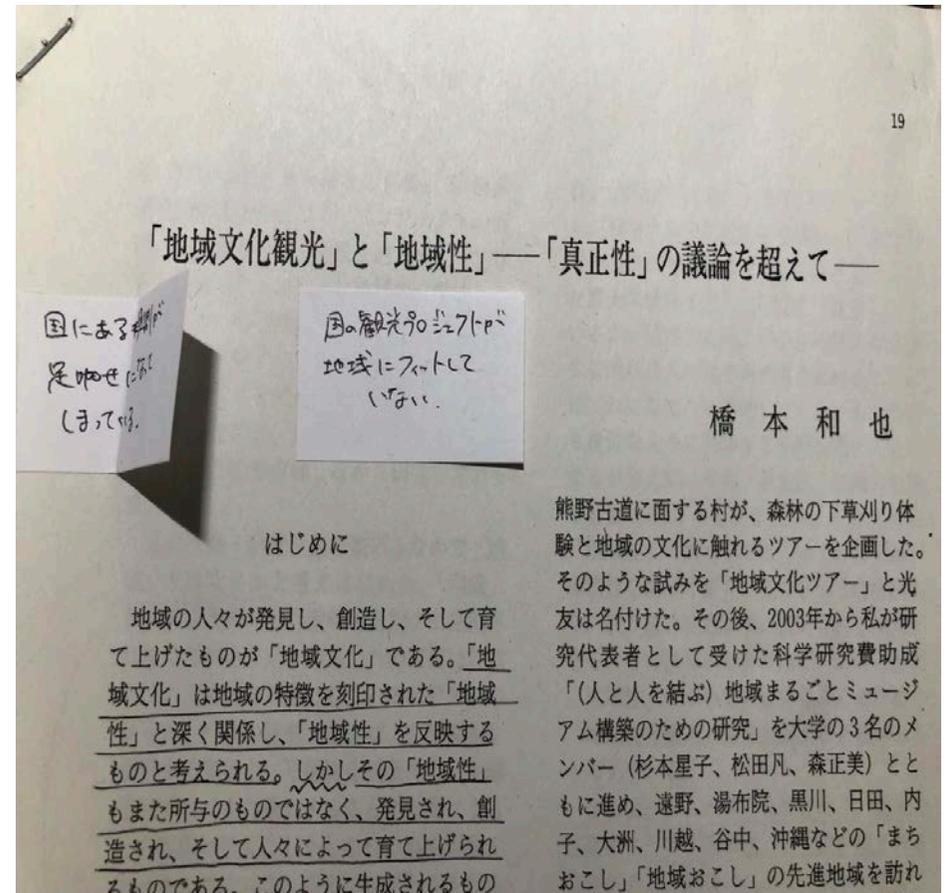
→どんな文献を参考にしているかチェック

参考文献を整理する

★ただ読むのではなく、“付箋”を活用する。

→気になった部分、自分の論調の裏付け
になりそうな部分、必要な歴史背景など
をマーク(後で論文を書きやすいように)

★エクセルに読んだ文献の要約を記入しておく
後で見返したときにわかりやすい。



参考文献を整理する

入手	既読	書籍・論文名	著者名	発行年	出版社	入手場所	概要	その他
○	△	Being Malay in Indonesia	Nicolas J. Long			岡本先生	マレー世界を概観できる	読書中
○	△	Menguak Sejarah Kampung ke Perkara Gelap Bangka-Belitung	Erwiza Erman	2009	Ombak	岡本先生	錫やコショウをめぐる、歴史	読書中
○	△	Tourism, Ethnicity, and the State in Asian and Pacific Societies	Michel Picard, Robert E. Wood	1997	University of Hawaii Press	東南研図書館	観光とエスニシティとの関係性について	
○	△	Art as Politics : Re-crafting Identities, Tourism, And Power in Tana Toraja	Kathleen M.Adams			岡本先生に依頼		
○	△	Toutism, Culture and Development : Hopes, Dreams and Realities in East Indonesia	Stroma Cole			岡本先生に依頼		
○	○	民族大国インドネシア	鏡味治也	2012	木犀社	岡本先生		
○	△	現代インドネシアの地方社会	杉島敬志, 中村潔	2006	NTT出版	図書館		読み直したい
○	○	経済大国インドネシア	佐藤百合	2011	中央公論新社	TSUTAYA		
○	○	バリと観光産業	井澤友美	2017	ナカニシヤ出版	岡本先生		
○	○	Ethnic Tourism and the Renegotiation of Tradition in Tana Toraja (Sulawesi, Indonesia)	Kathleen M.Adams			KURENAI		
△	△	変容する東南アジア社会	加藤剛	2004	めこん			読み直したい
△	△	インドネシアの民俗	リー・クーンチョイ	1976	サイマル出版			
△	△	多言語社会のバリエーション	青山純弘, 佐藤朝子	2008	ナカニシヤ出版			



参考文献を整理する

書誌詳細



▲ [検索結果一覧へ戻る](#)



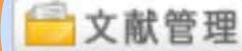
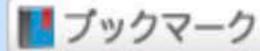
二十年目のインドネシア：日本とアジアの関係を考える

倉沢愛子著. -- 草思社, 1994. <TW86239498>

総合評価： ★★★★★

登録タグ： 登録されているタグはありません

便利機能：



▶ [目次・あらすじを見る](#)

▶ [レビューを見る](#)

▶ [詳細情報を見る](#)

書誌URL： <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/T>

所蔵

1件～3件 (全3件)



フォルダの作成 参考文献の作成 レコードの作成

レコード > すべてのレコード

レコード

フォルダの整理および共有

1 2 3 次のページへ進

対象レコード

並べ替え

表示形式

選択したレコード

ページ

すべてのレコード

著者、第 1

標準ビュー

レコードID 58 書籍 レコード 1 の 68

著者 [Abdullah, Husnial Husin](#); [Samad, Abdul](#); [Asgar, Ali](#)
 書名 Sejarah perjuangan kemerdekaan R.I. di Bangka-Belitung
 ソース 1983, 393 p., Karya Unipress, Cet. 1

[京大 ArticleLinker](#)

レコードID 12 学術論文 レコード 2 の 68

著者 [Adams, Kathleen M.](#)
 表題 Ethnic Tourism and the Renegotiation of Tradition in Tana Toraja (Sulawesi, Indonesia)
 ソース [Ethnology](#), 1997, 36, 4, 309-320, University of Pittsburgh, PITTSBURGH

[京大 ArticleLinker](#)

レコードID 44 書籍 レコード 3 の 68

著者 [Adams, Kathleen Marie](#)
 書名 Art as politics : re-crafting identities, tourism, and power in Tana Toraja, Indonesia
 ソース 2006, : pbk, University of Hawai'i Press, Honolulu

[京大 ArticleLinker](#)

レコードID 38 書籍 レコード 4 の 68

著者 [Anderson, Benedict R.O'G.\(Benedict Richard O'Gorman\), 1936-2015](#); [白石, さや\(1948-\)](#); [白石, 隆\(1950-\)](#)
 書名 想像の共同体 : ナショナリズムの起源と流行
 ソース 1997, NTT出版, 東京

フォルダ 未読:

サポート

サポートセンター
オンラインセミナー

[f](#) [t](#)

フォルダ

★ [マイリスト](#)

フォルダ外のレコード (60)

最近インポートされたレコード

未読 (6)

クイックアクセス

[詳細検索](#)

[インポート](#)

[エクスポート](#)

[参考文献の作成](#)

[レコードを印刷する](#)

利用状況

68 レコード
 3 フォルダ
 0 共有項目

問いの立て方

←じっくり時間をかけるべき

- 卒業論文では、自分で問題を発見し、研究テーマを提示する。
- 「なぜ～？」という疑問が、良いリサーチクエスチョンを作る土台になる！

(例)「なぜインドネシア人が研修生として日本に出稼ぎに来るのか？」

→「給与が日本の方が高いから。」

★「なぜ？」と疑問に思ったことから浮かび上がる答え(答えと言えそうなもの)に対して、さらに疑問を投げかけてみる。

(例)「なぜインドネシア人が研修生として日本に出稼ぎに来るのか？」

→「給与が日本の方が高いから。」 そうか、なるほど。う～ん、でも…

⇒「なぜ、他の国ではなく、日本なんだろう？」

⇒「なぜ、より多額の給与が必要なのか？」

⇒「なぜ初期費用がほとんどない状態でも渡航できたのか？」

先行研究、
資料はあるか？

▶ □ シンプルな疑問から、どんどん「なぜ～？」を発展させていく

問いの立て方 ←じっくり時間をかけるべき

- **リサーチクエスションは、なるべく具体的に！**

Yes・Noで答えられてしまうような問いや、「～はどうなっているのか？」という問いでは、論文というよりは、レポートのようになってしまう。

- 『**良い問いが、良い論文を作る！**』

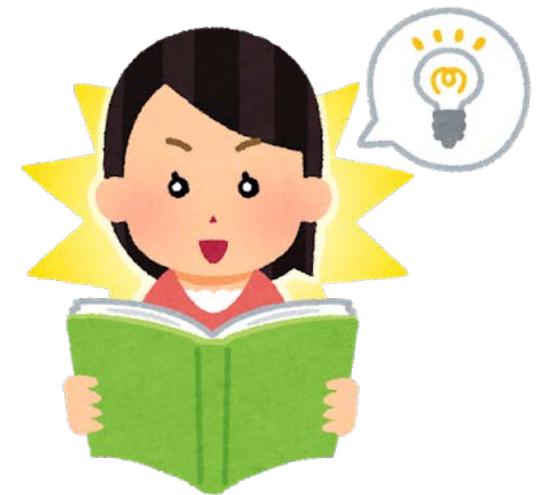
★参考文献の読み込みがここでも生きてくる。

先行研究ではどんな問いがなされてきたか？

先行研究で不足している点はあるか？

先行研究で議論が十分にされていると言えない点があるか？

・・・先行研究(で投げかけられていた問い)に対して、
自分の論文(の問い)がどんな意味を持つのか？



卒論の書き進め方



『さて、書き始めるぞ！』

何を使って書く？ →文系はwordで十分。理系ではLaTeXで書く人も。

文章の語調は？ →基本は「である調」

*日本語は一文が長くなりやすいので、長さに注意しながら書き進めると良い。

(主語述語の意識。一度声に出して読んでみると、文章の長さや句読点の位置の参考になる)

図や表を入れたい！ →2パターン

1.文章の間に入れる 2.付録として卒論末尾につける

★いずれもルールは同じ！

- ・図、表の番号をつける（第1章の2つ目の図 ▶ □ 図 1-2）
- ・図、表のタイトルをつける（読み手に何の図かわかるようにする）
- ・データの出典を書く（引用データによる図、表の場合）

★意味のない図や表をむやみに論文に入れすぎない。

→図、表を入れることで、「～から、～ということが言える」という自然な文章になるかどうかを意識。



卒論の書き進め方

段落分けはどうしたらいい？ →5文前後で1段落が目安。

多少多くても良いので、文量よりも、文章のまとまりごとに分けるように意識！

何から書き始めたらいいの？ →『ルールはありません！』

(私の場合)

「目次→(先行研究以外の)序論→本論(調査のまとめ・分析)

→先行研究→概要→結論→参考文献」

★書けるところから書く！目的と結論がぶれないように注意！

参考文献の書き方例

岡本正明. “慣習継承の政治学”：民族大国インドネシア, 木犀社, 2012, p221-242

吉野耕作. “消費社会におけるエスニシティとナショナリズム-日本とイギリスの「文化産業」を中心に-“, 社会学評論, 44号, p.384-399

遠藤英樹. “ツーリズム・モビリティーズ”, ミネルヴァ書房, 2017

井澤友美. “バリと観光産業”, ナカニシヤ出版, 2017

Eriwiza Erman. “Menguak Sejarah Timah Bangka-Brlitung, Ombak”, 2009



おまけ

(実際、どんな感じだったの?)

● どのくらい執筆に時間がかかった？

私の場合は、留学から戻って9月から本格始動。かなり出遅れた方でした。

★時間には余裕を持って、執筆するようにしましょう！！

● 何ページくらい書いた？

A4 30ページちょっと。(私は図表を付録にしました。)

● 卒論の時期になると先生がよく話す「あれ」は本当？

『PCが壊れ、失恋し、インフルエンザにかかり……』

→嘘のように聞こえていたけれど、周りでなっている人が確かにいた！

★何が起きてもいいように、バックアップは絶対にこまめに取っておくことをお勧めします。

★適度な息抜きと、自分に合ったストレス発散法を見つけておきましょう！

おまけ

(実際、どんな感じだったの?)



他の巻号を見る



社会調査の考え方

佐藤郁哉著；上，下． -- 東京大学出版会，2015． <BB05043984>

総合評価： ★★★★★

登録タグ： 登録されているタグはありません

便利機能： [ブックマーク](#) [出力](#) [メール](#) [文献管理](#)

[▶ 目次・あらすじを見る](#) [▶ レビューを見る](#) [▶ 詳細情報を見る](#)

書誌URL：

[選択](#)

所蔵一覧 1件～4件 (全4件)

10件 ▾

No.	巻号	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
0001	上	吉田南	1F 和書	361.9 S 71 上	200032288181			
0002	上	附図	2F 開架	EC 37 シ65	200032153298			
0003	下	吉田南	1F 和書	361.9 S 71 下	200032288190			
0004	下	附図	2F 開架	EC 37 シ65	200032153306			

<https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB05043984>

ラーニングコモンズ、学習サポートデスク

を、ぜひ活用してください！

附属図書館 Twitter

» <https://twitter.com/kumainlib>



附属図書館でのイベント、ラーニングコモンズの情報など、発信中！

オンラインでの学習相談受付中！

